

よこすか E C O 通信



第43号(令和3年12月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

「地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例」が施行されました。

令和3年10月1日に、「地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例」が施行されました。

現在、地球規模で進んでいる地球温暖化は、気候変動による被害や災害の主な要因になっていることから、日本を含む世界の主要国で、脱炭素社会*を目指す動きが進んでいます。

こうした中で、横須賀市は、令和3年1月に2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和3年4月に環境基本条例に「気候変動への対応」を位置づけ、さらに、脱炭素社会への移行に向けた姿勢を示すとともに、市民・事業者・市民団体と連携して、温室効果ガスの排出量の削減等及び気候変動適応策を推進していくために「地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例」を制定しました。

条例名に『ゼロカーボン』を掲げた条例は、全国では3例目となります(令和3年12月1日現在、本市調べ)。 *脱炭素社会…地球温暖化の原因となる温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現する社会のこと

地域における「暮らし」「社会」分野を中心に、生活者目線での脱炭素社会実現に向けた工程と具体策を示す「地域脱炭素ロードマップ」では、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを「ゼロカーボンアクション」として整理しています。

具体的にどんなことをすればいいのか「ゼロカーボンアクション30」を見てみましょう！

ゼロカーボンアクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。
「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう！



エネルギーを節約・転換しよう! 1 再エネ電気への切り替え 2 クールビズ・ウォームビズ 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう 7 消費エネルギーの見える化	太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう! 8 太陽光パネルの設置 9 ZEH(ゼッチ) 10 省エネリフォーム 窓や壁等の断熱リフォーム 11 蓄電池(車載の蓄電池) ・省エネ給湯器の導入・設置 12 暮らしに木を取り入れる 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択 14 働き方の工夫	CO2の少ない交通手段を選ぼう! 15 スマートムーブ 16 ゼロカーボン・ドライブ	食ロスをなくそう! 17 食事を食べ残さない 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活 20 自宅でコンポスト
環境保全活動に積極的に参加しよう! 30 植林やゴミ拾い等の活動	CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう! 28 脱炭素型の製品・サービスの選択 29 個人のESG投資	3R(リデュース、リユース、リサイクル) 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や修繕をする 26 フリマ・シェアリング 27 ゴミの分別処理	サステナブルなファッションを! 21 今持っている服を長く大切に着る 22 長く着られる服をじっくり選ぶ 23 環境に配慮した服を選ぶ

環境省HP <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20210826-01.html>

令和3年度9月作成 環境省 Ministry of the Environment COOL CHOICE

2面は「冬の環境学習講座などのお知らせ」、3面は「令和3年度 横須賀いいね★エコ活動賞受賞団体」、4面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。

☆横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます。)

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>



冬の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

みんなの理科フェスティバル

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、小中学生から高校生・大学院生、研究機関・大学などの教員・研究員、市民などによる研究発表・講演会・実験ショーなどを開催します。

日時 令和4年1月22日(土)・23日(日)
9:30~17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館
横須賀市文化会館

入場 自由



トピックス展示「新着標本2022」

初めて公開される、新たに収集または分類整理された自然誌資料のうち、学芸員おすすめの資料を展示します。

開催期間 令和4年1月22日(土)~3月13日(日)

時間 9:00~17:00

場所 本館 展示室

観覧料 なし



問合せ先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95番地
電話046-824-3688
E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp
休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)
年末年始(12/29~1/3)

令和3年度「環境ポスターコンクール」 入選作品が決定しました!

横須賀市では、子どもたちが環境について考えるきっかけづくりの一環として、市内在住・在学の小中学生を対象とした「環境ポスターコンクール」を実施しています。

学校の夏休み期間に作品を募集し、今年は市内36校から950作品の応募がありました。「自然」「みどり」「地球温暖化」などをテーマに描かれた作品の中から、横須賀市長賞(最優秀作品)1作品、各協賛企業・団体賞(優秀作品)20作品の計21作品の入選が決定しました。

※各賞の入選者及び入選作品は、横須賀市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/nagekomi/20211203poster.html>



令和3年度横須賀市長賞

問合せ先 横須賀市環境政策部環境企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話046-822-8524
E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

パネル展示 三浦半島の水辺とホタルを守る活動

三浦半島のホタルを愛する市民団体等が作成したパネルを展示します。

日時 令和4年1月15日(土)~2月6日(日)
9:00~17:00(毎週月曜日は休館日)

場所 横須賀市自然・人文博物館 1階ホール
観覧料 なし



問合せ先 横須賀市環境政策部自然環境共生課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話046-822-9749
E-mail: ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp



横須賀エコツアー



見てみよう観音崎の地層

実際に観音崎にある地層に触れながら観察します。地層の種類や傾斜などを見ながら、三浦半島の地層の成り立ちを探ります。灯台裏では断層になっている地層も見られます。

日時 令和4年2月11日(金祝)
9:30~12:30

場所 県立観音崎公園

集合 9時20分 県立観音崎公園ボランティアステーション

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

参加費 無料

申込 令和4年1月17日(月)~2月8日(火)に
全員分の必要項目を電話、FAXかメールで申込先へ

申込先 観音崎公園パークセンター
電話046-843-8316 FAX046-844-4150
E-mail: info-kanonzki@kanagawaparks.com



冬の野鳥観察会

斉田浜から沢山池までを歩き、海・川・山・里、それぞれの環境に暮らす野鳥を観察します。講師が同行し、野鳥の見分け方や鳴き声の聞き分け方を解説します。

日時 令和4年2月19日(土) 9:00~12:00
(雨天時2月20日(日))

場所 斉田浜~沢山池

集合 9時00分 西行政センター玄関前

参加費 大人300円、小中学生100円(保険料代)

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定員 抽選30人

締切 令和4年1月31日(月)当日消印有効

申込 全員分の必要項目を往復はがきかメールで申込先へ

申込先 おおくすエコミュージアムの会
〒240-0101 横須賀市長坂3-27-12
電話080-1200-8143
E-mail: okusueco@yahoo.co.jp



必要項目: 郵便番号・住所・氏名とフリガナ・年齢・電話番号

令和3年度 横須賀いいね★エコ活動賞 受賞団体決定!

横須賀市では、環境意識の向上や環境活動の活性化のため、市内の団体や学校等における「いいね★」といえる環境活動を「横須賀いいね★エコ活動賞」として表彰しています。

今年度は、市内で環境活動を行う市民活動団体、事業者などの活動を対象に、隔年で実施する【一般の部】から6団体、学校等での1年以内の活動が対象の【学校短期活動の部】から3校、1園の受賞団体が決定しました。

受賞された団体の皆さま、おめでとうございます!!

一般の部

鷹取山自然観察会
＜鷹取山自然環境保全賞＞



エコルシェ横須賀
＜エコルシェ推進賞＞



横須賀モアーズシティ
＜企業エコ推進賞＞



よこすか歴史の交差点
(やきとり竜馬におまかせ)
＜ハートの種グリーンカーテンPR賞＞



東京ガス株式会社
神奈川学校教育情報センター
＜エネルギー環境教育賞＞



エコ〇は一との種♡活動
～は一との種は地球と心の絆創膏～
＜は一との種エココミュニケーション賞＞



学校短期活動の部

横須賀市立常葉中学校生徒会
＜常葉中校内緑化賞＞



社会福祉法人長岡児童福祉園会
長岡こども園
＜長岡こども園ビニール袋削減賞＞



横須賀市立森崎小学校5年1組
＜森崎小環境向上賞＞



横須賀市立逸見小学校計画委員会
＜逸見小エコチャレンジ賞＞



問合せ先：横須賀市環境政策部環境企画課
電話046-822-8524

各受賞団体の活動内容等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/hyoushou/iine-ecokatsu/index.html>



横須賀市西岸の荒崎海岸は、地層観察に適した場所の1つです。荒崎の地層はおもに泥岩とスコリア凝灰岩の繰り返しからできています（図1、表1）。地層は南東に70°～80°傾き、泥岩はスコリア凝灰岩に比べて削られやすいため、洗濯板状の地形となっています。また、地層のズレである断層が多く見られます（図2）。この地層は、三浦層群三崎層とといいます。三崎層は三浦半島南部を構成する地層で、およそ1,000万年前から470万年前に、水深2,000 m以上の深海でつくられました。

荒崎周辺の土地の大部分は約8万年前に海底から隆起して陸地になり、火山灰である関東ローム層が三崎層の上に降り積もりました（図3）。三崎層と関東ローム層のできた時代には大きな隔たりがあり、このような2つの地層の関係を不整合とといいます。荒崎の関東ローム層には箱根火山由来の6万5,000～6万年前に噴出した火山灰層が挟まれています。

荒崎の比較的平坦な岩場は、海底で波によって地層が侵食され、それが地震によって隆起した結果つくられました。このような地形を波食棚と呼びます。1703年の元禄地震や1923年の大正関東地震によって三浦半島南部は大きく隆起し、波食棚が現れました（図4）。

表1. 泥岩とスコリア凝灰岩の特徴.

	泥岩	スコリア凝灰岩
色	白っぽい	黒っぽい
構成物	1/16 mm 以下の碎屑物	発泡した黒色の火山碎屑物
削られやすさ	削られやすい	削られにくい



荒崎海岸の位置
(Google map)

(横須賀市自然・人文博物館 柴田健一郎)



図1. 荒崎の泥岩とスコリア凝灰岩の繰り返しからなる三崎層.

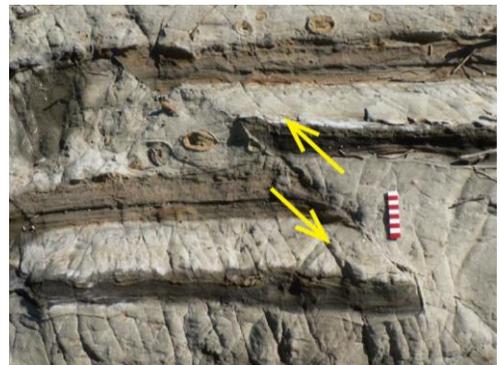


図2. 三崎層の断層.



図3. 三崎層と関東ローム層の不整合.



図4. 荒崎の波食棚.